

# 地域産業クラスタープロジェクトの概要（案）

---

## 目 次

○拡大再生産に向けた施策の強化《地域産業クラスターの形成》（案）	1
○産業成長戦略の取り組みを土台とする地域産業クラスターの形成（展開図）（案）	2
○地域アクションプランの取り組みを土台とする地域産業クラスターの形成（展開図）（案）	3

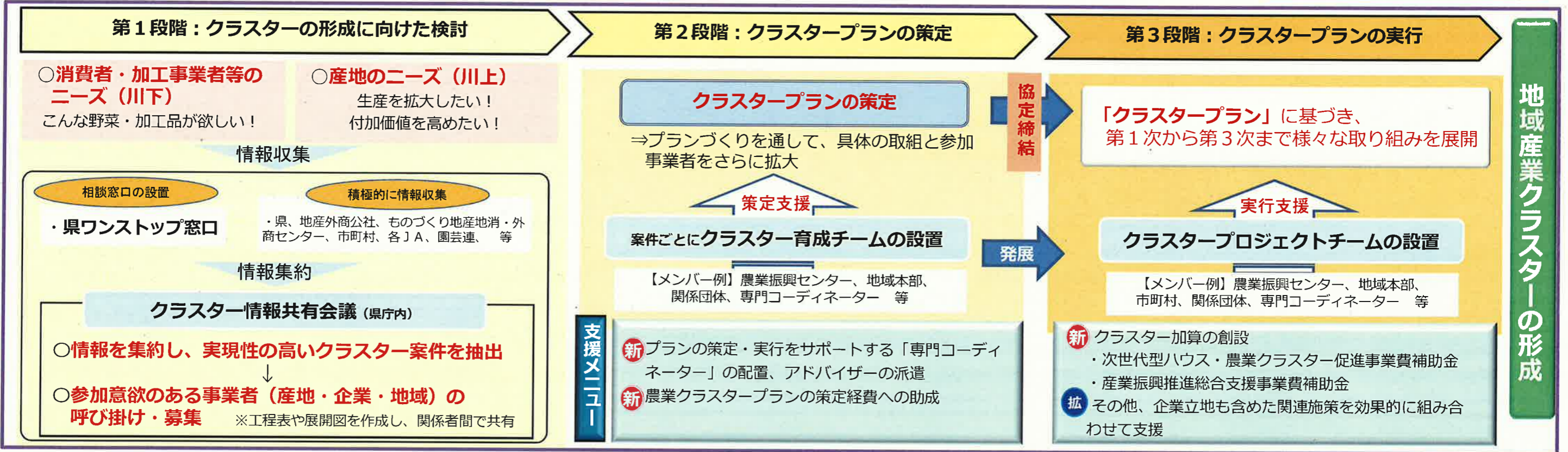


# 拡大再生産に向けた施策の強化《地域産業クラスターの形成》(案)

点から面へ。多様な仕事を数多く創出する

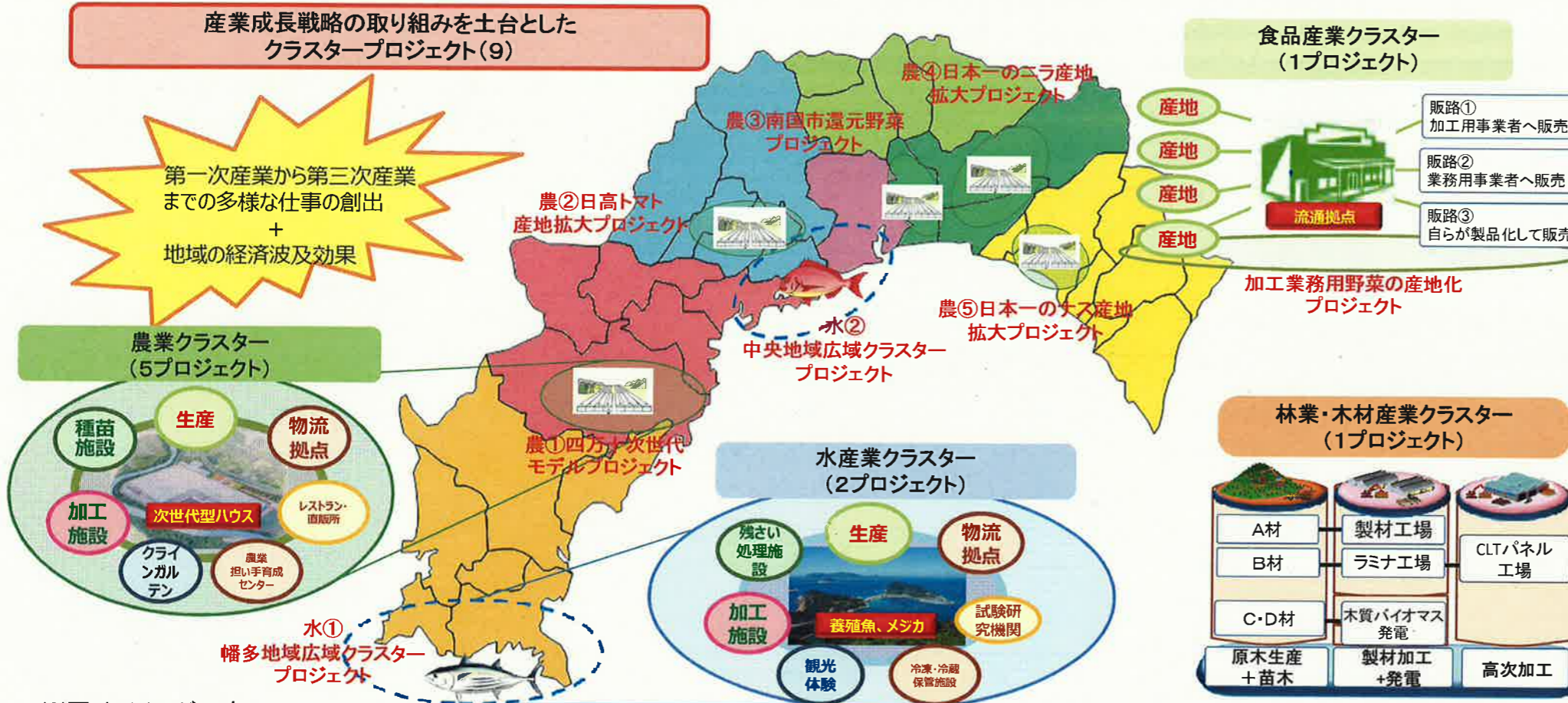
【再掲】資料2の7ページ

## ◆地域産業クラスターを意図的に生み出す仕組み



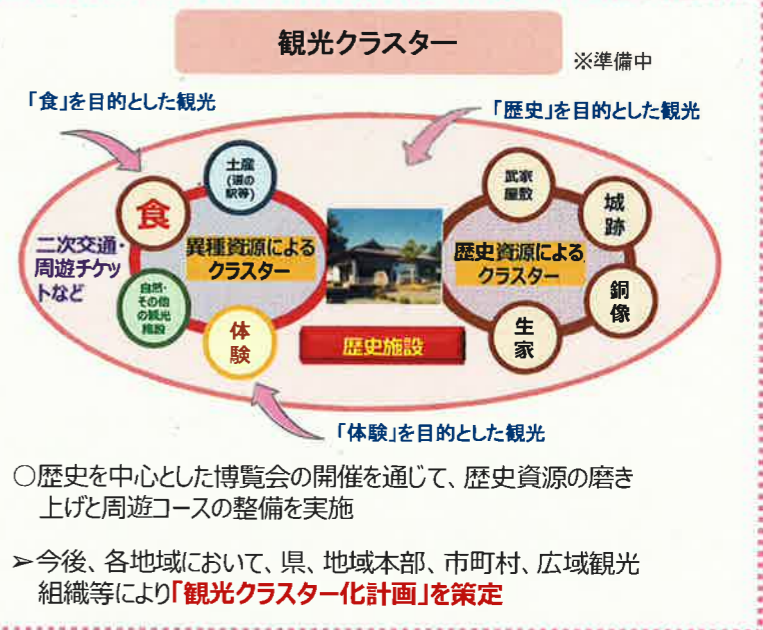
## ◆16のクラスタープロジェクト(産業成長戦略系9、地域アクションプラン系7)を推進(H28.3月現在)

⇒ 今後、上記の仕組みを通じて、新たなプロジェクトをさらに掘り起こし、各地で展開



## 地域アクションプランの取り組みを土台としたクラスタープロジェクト(7)

- ① 奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター
- ② 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出
- ③ 嶺北畜産クラスターによる地域の活性化
- ④ 嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化
- ⑤ 仁淀川町の(株)フードプランを中心としたカット野菜事業クラスター
- ⑥ 佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター
- ⑦ 四方十ポークブランド推進プロジェクト

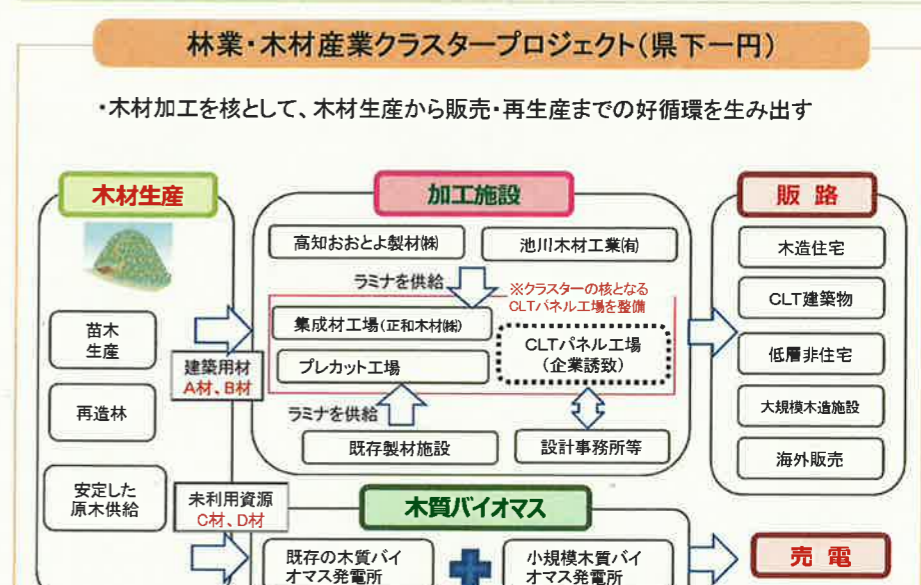
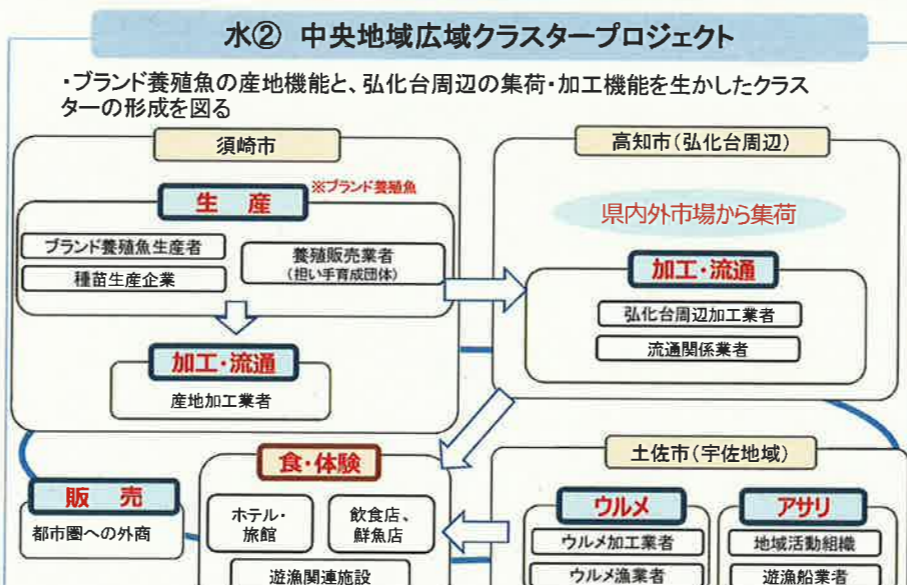
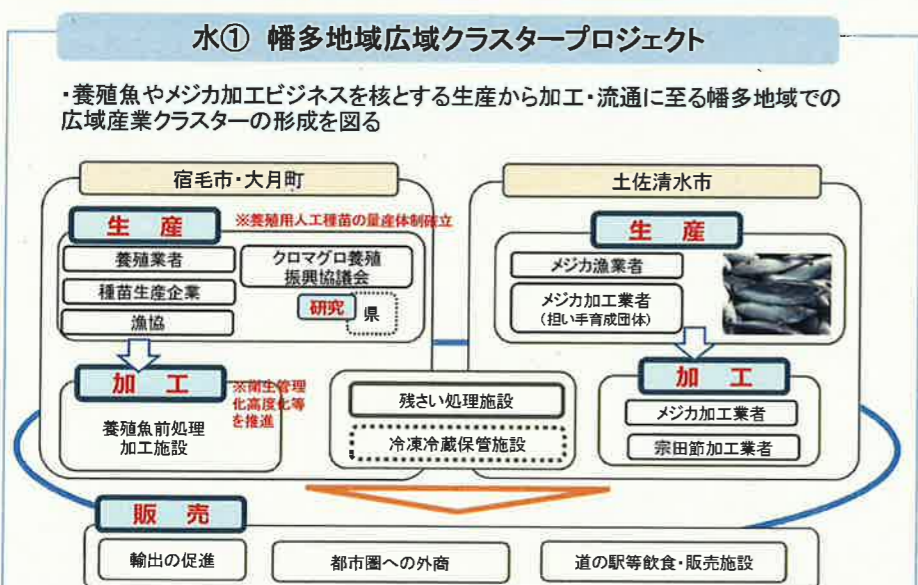
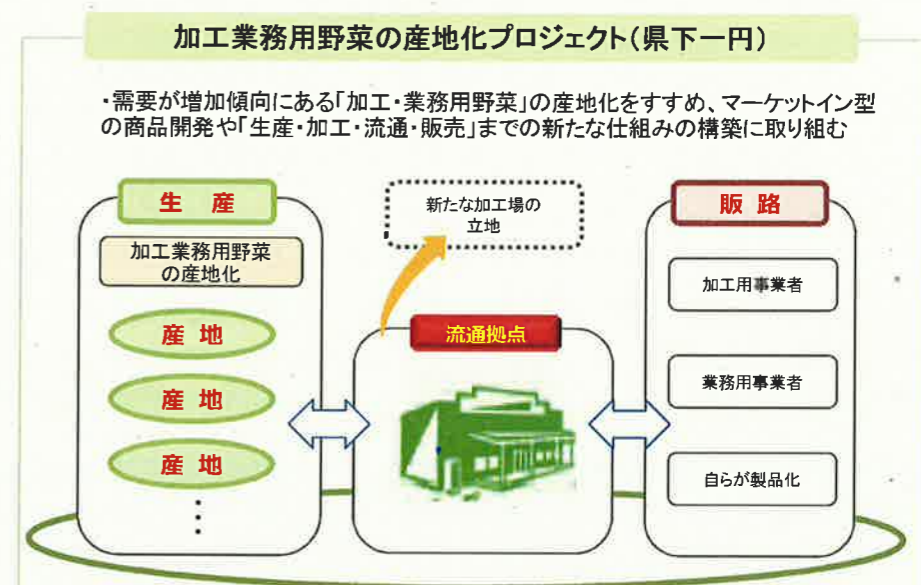
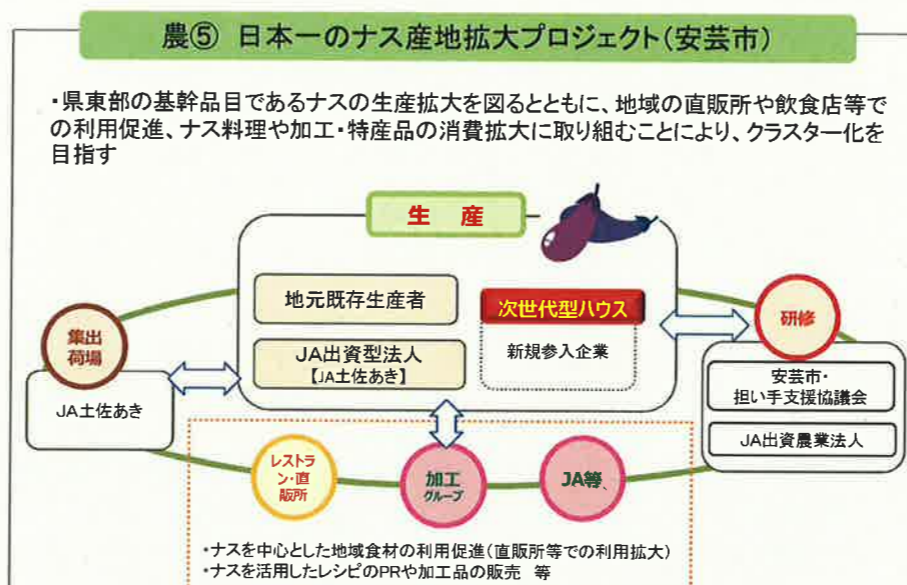
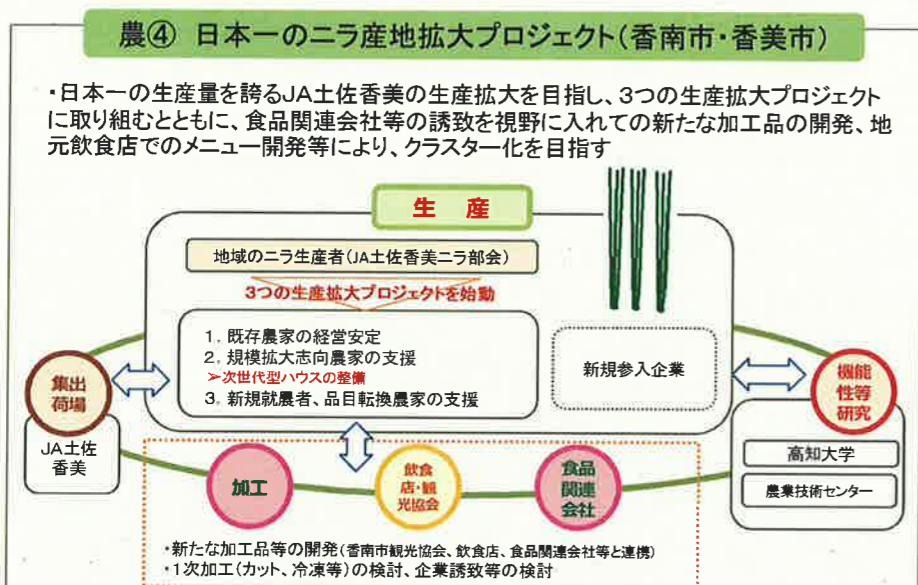
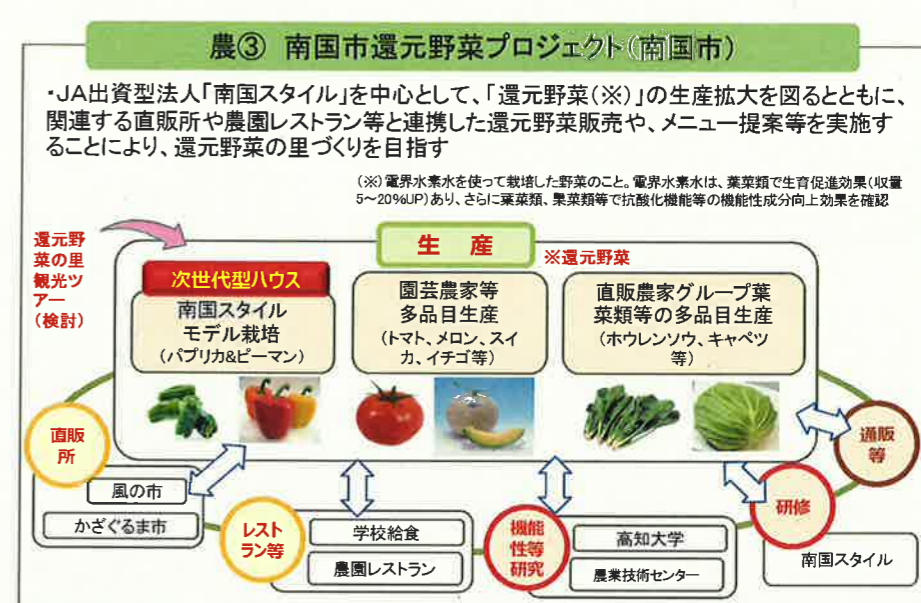
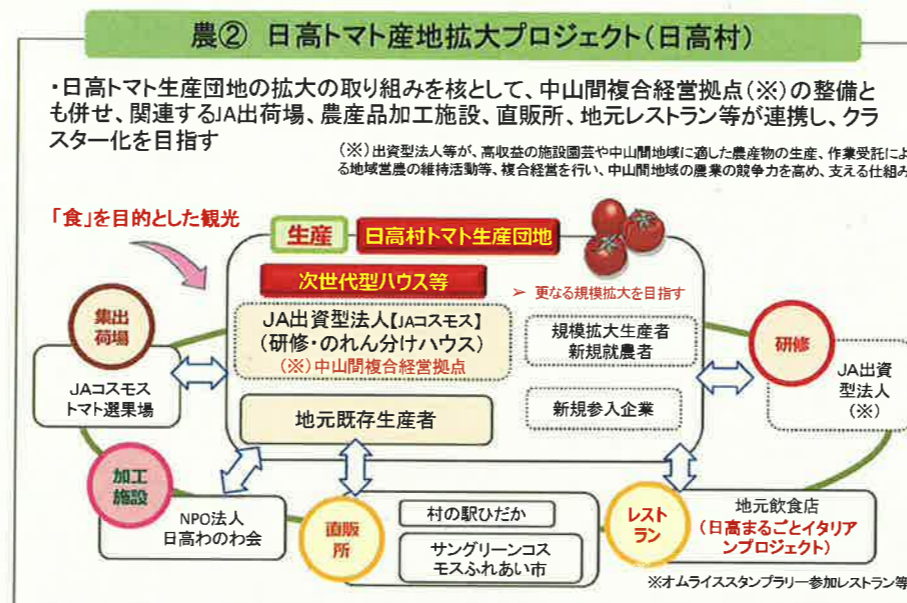
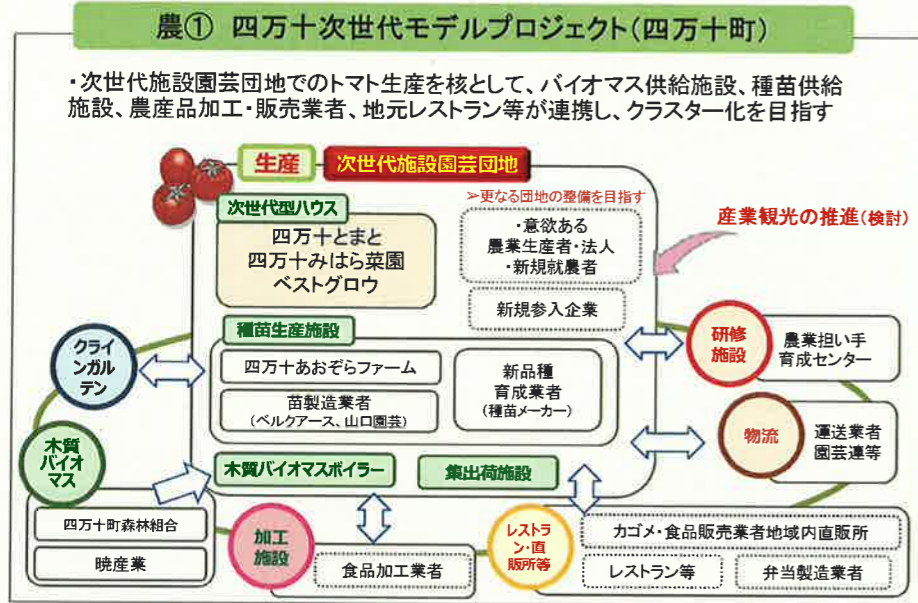




# 産業成長戦略の取り組みを土台とする地域産業クラスターの形成（展開図）（案）

## ◆9つのクラスタープロジェクトを推進（H28.3月現在）

（注）図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます





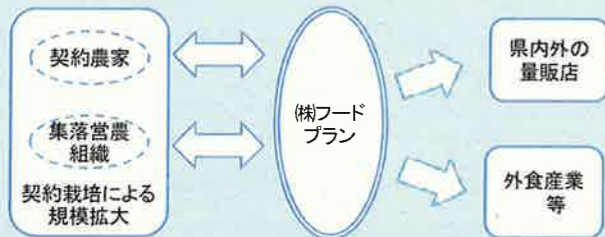
# 地域アクションプランの取り組みを土台とする地域産業クラスターの形成（展開図）（案）

## ◆7つのクラスタープロジェクトを推進（H28.3月現在）

（注）図中の点線で囲んでいる部分は想定です。実現に向けて、生産者団体や事業者、市町村等の関係者の皆様と検討を重ねていきます

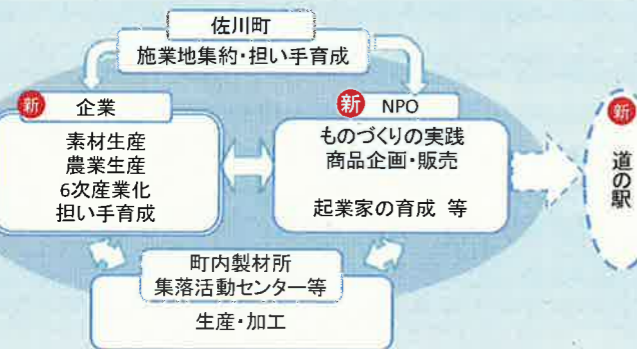
### 【仁淀川町の㈱フードプランを中心としたカット野菜事業クラスター】

県内産野菜のさらなる活用のため、契約栽培を行う集落営農組織等を仁淀川流域はもとより県内に拡大するとともに、カット野菜加工施設の規模拡大に向けた安定的な原材料の調達を進める。



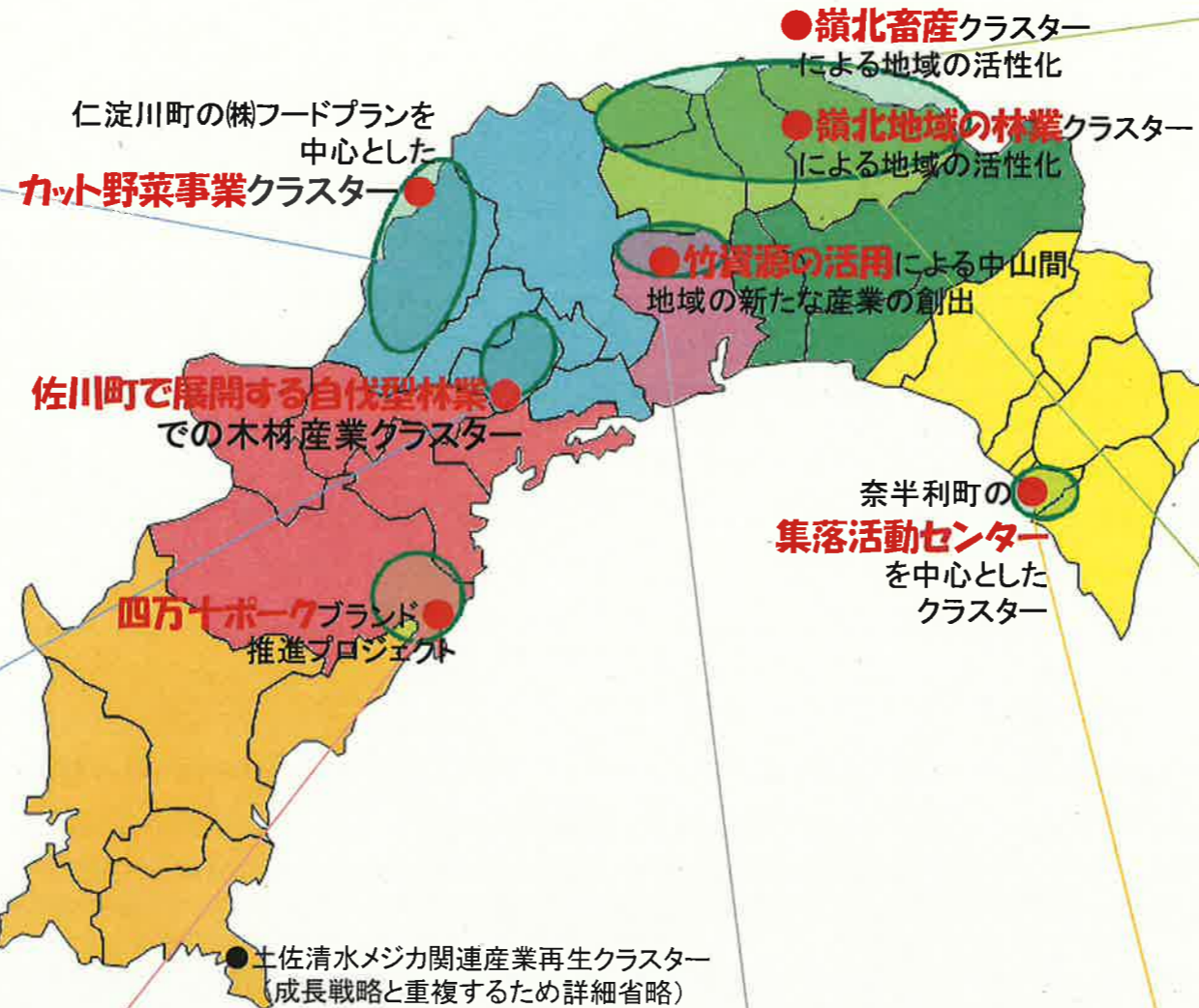
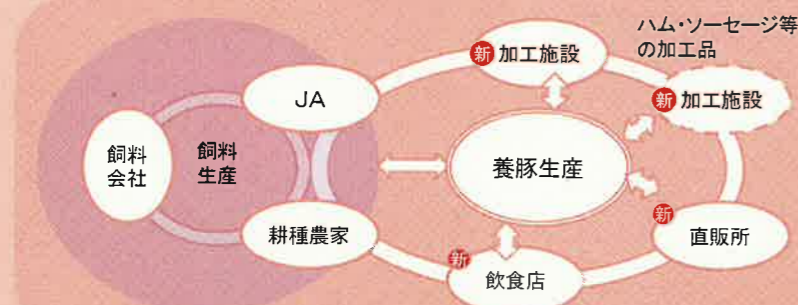
### 【佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター】

林業の原木等の素材生産や農業生産を行う企業を新たに設立し、自伐型林業の担い手を育成・確保する。また、別途立ち上げるNPO法人において起業家を育成するとともに、町内製材所や集落活動センターと連携してものづくりを実践する。



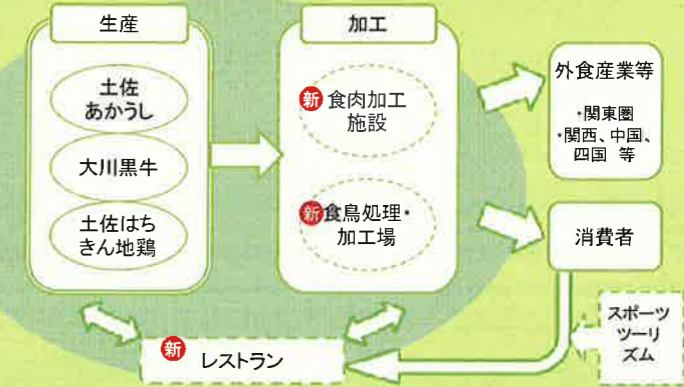
### 【四万十ポークブランド推進プロジェクト】

養豚農家の生産基盤の強化を図るとともに、関係機関が連携し安心安全な四万十ポークを消費者に安定供給できる体制を構築し、新たな6次産業化ビジネスの展開とあわせて地域の所得向上につなげる。



### 【嶺北畜産クラスターによる地域の活性化】

「土佐あかうし」「大川黒牛」「土佐はちきん地鶏」のさらなる生産拡大と6次産業化による付加価値の向上を図る。また、さめうら湖や山岳資源を活用したスポーツツーリズムにより観光振興・交流人口の拡大を図りながら、レストラン事業の展開も検討する。



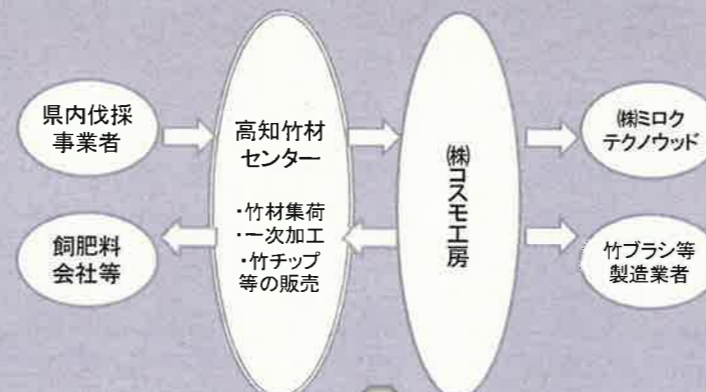
### 【嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化】

嶺北地域の豊富な森林資源を余すところなく活用し、地域経済の活性化につなげる。



### 【竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出】

県産竹材を活用した製品加工の拡大とともに、竹材の集荷や一次加工、竹チップの販売など竹資源を活用した新たな事業展開を図る。



### 【奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター】

新設する集落活動センターを拠点として、奈半利ブランドの確立と地域の所得向上につなげる。

